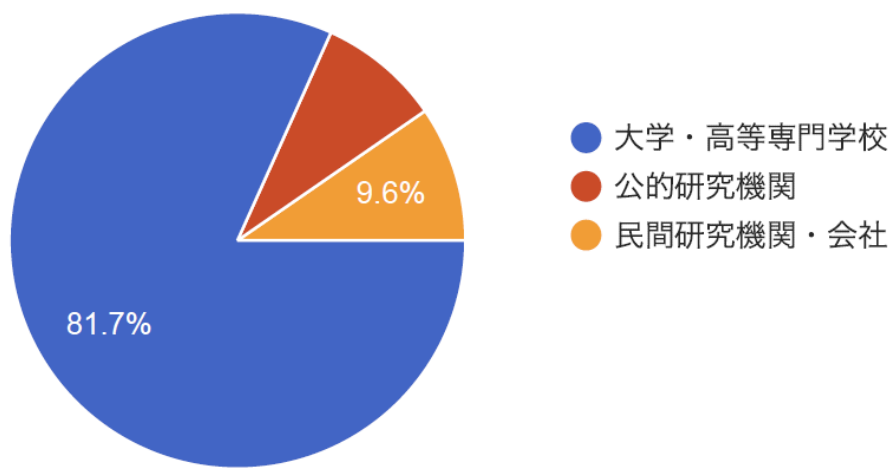


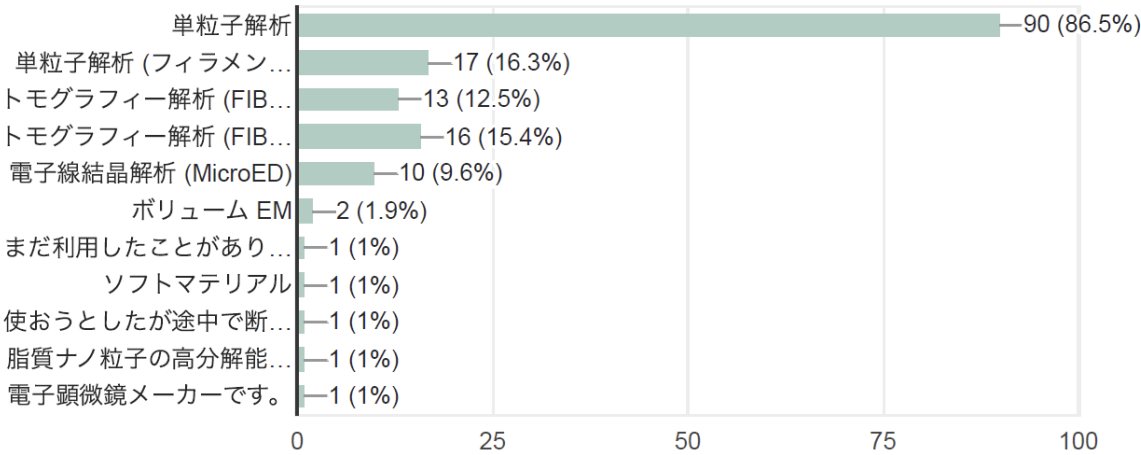
クライオ電顕UG 実態調査アンケート

実施期間 2025年8～9月
有効回答数 104件

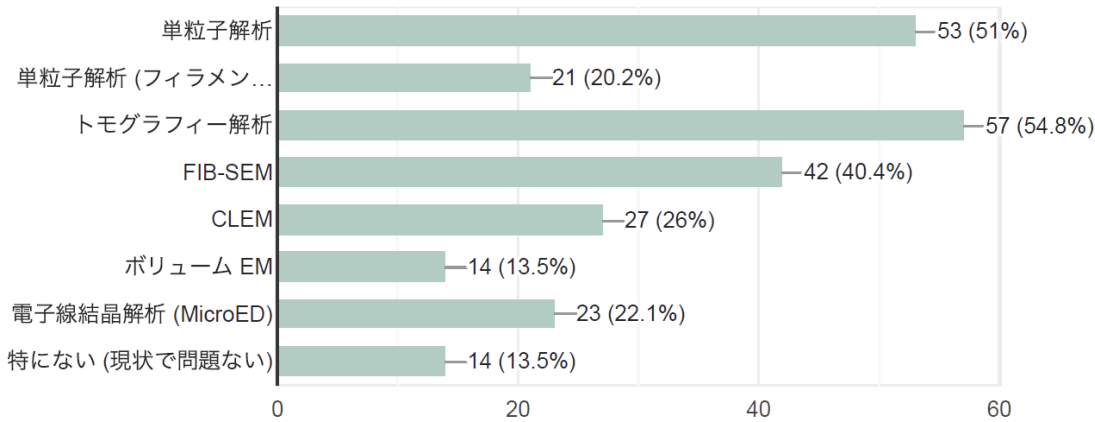
Q 所属機関について教えてください



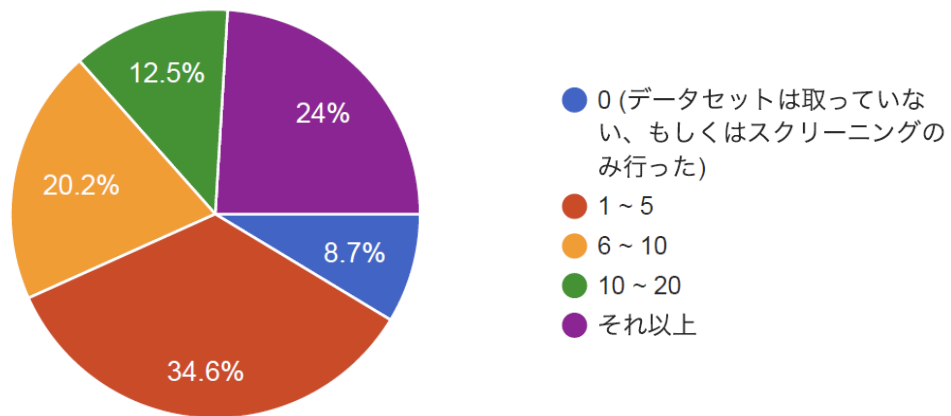
Q 現在、クライオ電子顕微鏡を使った研究を行っていますか。どのような用途で利用していますか。 今後利用したい



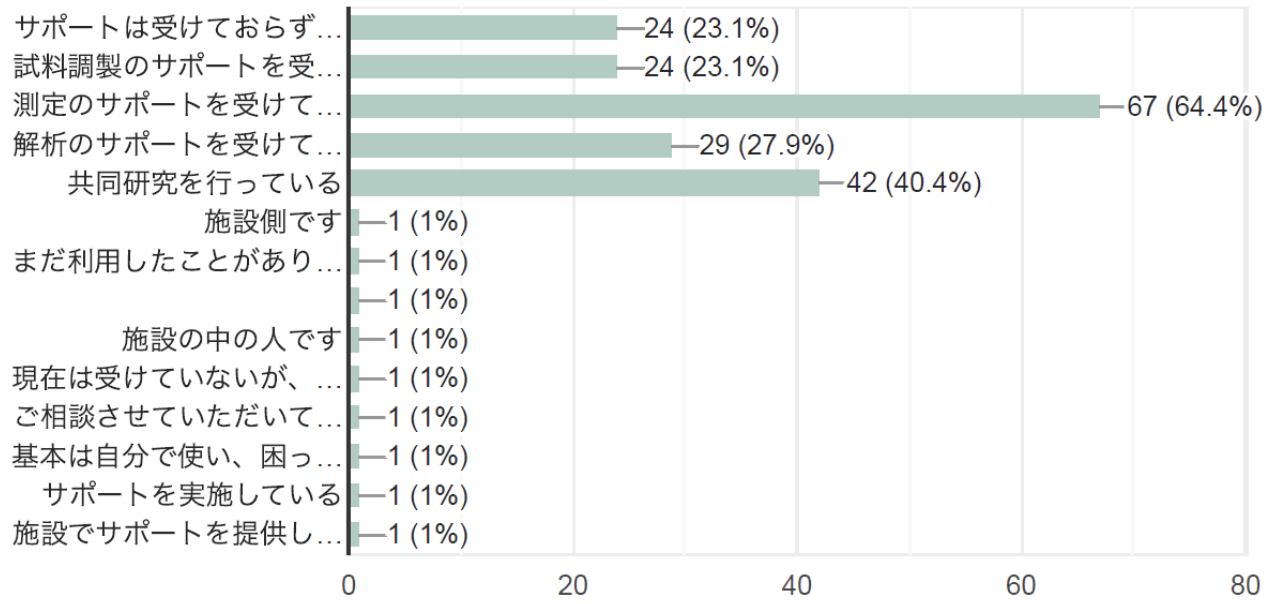
Q 今後、クライオ電顕関連で利用予定もしくは使ってみたい手法はありますか。



Qこの1年間で取得したデータセット数はどのくらいですか？



Q施設からのサポートを受けていますか



Q施設からサポートを受けている方にお伺いします。受けて良かったサポートの内容を教えてください。

まとめ

「試料調製」「測定」「解析」「共同研究」など多岐にわたるサポートが提供されており、特に「測定のサポート」「試料調製のアドバイス」「トラブル対応」への満足度が高いです。

サポートの質や専門性、教育・講習会の開催、リモート測定の充実などが高く評価されています。

Q今後、施設から期待するサポートもしくは改善してほしい点があれば内容を教えて下さい

「リモート測定の拡充」「常駐スタッフの増員」「施設間での料金やサポート比較」など、今後の改善要望も多く寄せられています。

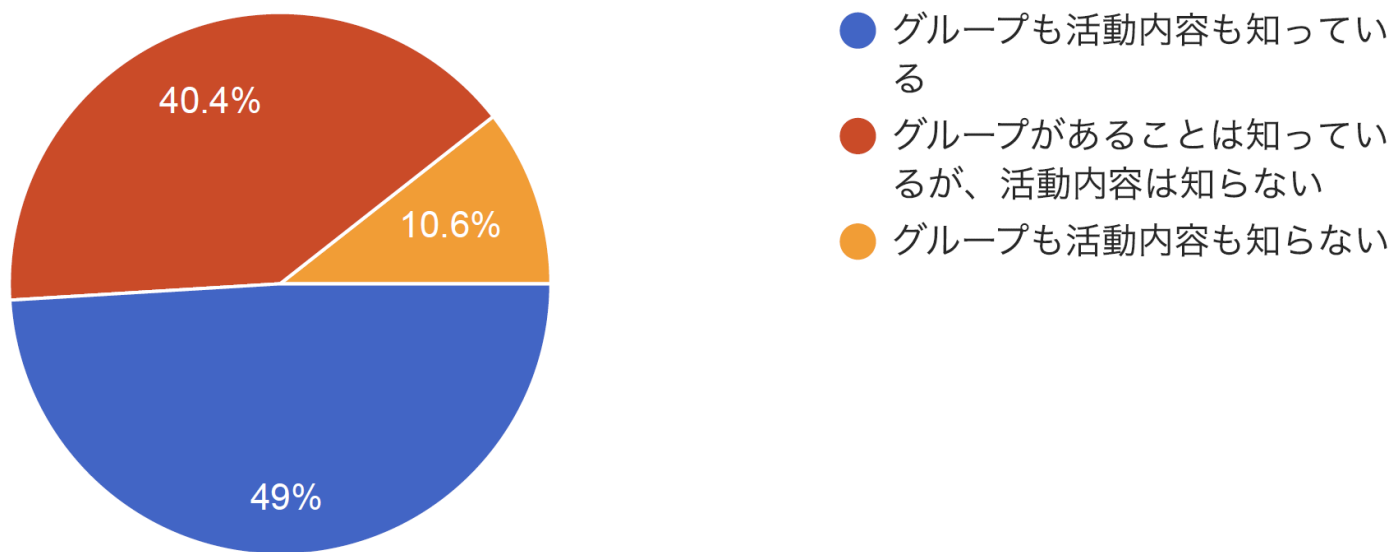
- サポート体制の充実・標準化
各種サポートの質が高く評価されている一方、施設ごとのサポート内容、手厚さに差があるとの指摘
常駐スタッフの増員や、リモート測定対応の拡充も強く要望
- 施設間の情報公開・透明性向上
利用スケジュールや料金体系、サポート内容、共同研究の必要などの情報が分かりにくいという声
- 教育・講習会・コミュニティ活動の強化
初心者・中級者向けの講習会や、最新技術のセミナー開催が高く評価

Q現在のクライオ電顕利用環境*についての満足度を5段階で評価してください。

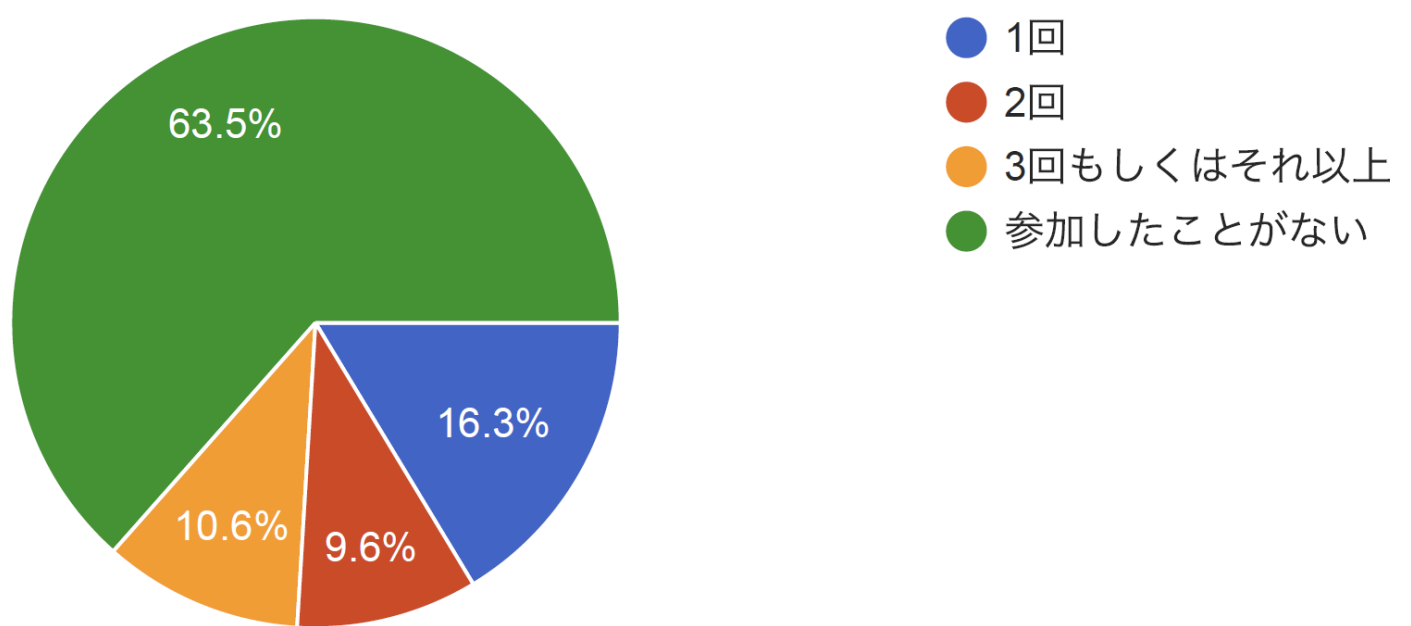
Average rating (4.03)



Qクライオ電顕ネットワークユーザーグループ、およびその活動内容を知っていますか？



Qクライオ電顕ネットワークユーザーグループでは2019年から毎年日本分子生物学会年会でミーティング(フォーラム)を開催しています。これまでに何回参加したことがありますか？



Qクライオ電顕ネットワークユーザーグループがあって良かったと思う点や、今後期待する活動内容などがあれば記載してください。

「ユーザーミーティングでの情報交換」「施設・技術情報の共有」など、ネットワーク活動の価値を評価する声が多いです。

一方で「セミナー・講習会の開催」「オンラインコミュニティの充実」「分子生物学会以外でのミーティング開催」「初心者向け講習会」「国内データベースの整備」など、さらなる活動拡大への期待も見られます。